

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース ひまわりクラブ
第8回 「～みんなの心で～ 8kmチャレンジハイク」

実施日時:2019年2月17日(日)

会場:二俣川駅～白根地区センター(旭区)

<活動のねらい>

●仲間と一緒に「楽しい!」と「できた!」
⇒1年間過ごした班の“特別感”や
“信頼感”を大切にし、「歩けた!」
という自信を持ち帰る。

<プログラムの構成要素>

自然に対する好奇心 ★★★
創意工夫を楽しむ心 ★★★
仲間とやってみようとする心 ★★★



“8km”という想像できない距離に、ドキドキしながら集合場所に来た子どもたち。一方で昨年度歩いた子は「歩けたから大丈夫!」という自信をのぞかせ、「橋があって…」と思い出話も見られました。だんだんとモチベーションも高まりスタート地点ではやる気に満ちた表情に変わっていました。



自然の中でたくさん遊んできた子どもたちは、ただの道に見える場所でも遊びを見つけ、自然物を発見するのがとても上手でした。スタートして間もなく、すでに両手には木の実や枝などでいっぱい。お気に入りの物を持って、まだまだ元気な様子で4km地点の昼食場所に到着しました。



お弁当でエネルギーチャージをし、残り4km。地図は上級生が中心になり、道を確認していました。「今どこだっけ?」という問いに、「今ここだから、こっちに進めばいいんだね!」「次探すのは、この看板だよ!」と地図や看板の写真を見せながら、優しく教えてあげていました。



お泊りキャンプでの「みーつけた!」という合い言葉を使い、みんなで看板を探す班や、一人一本大切な枝を持って歩く班、歌いながら歩く班など、それぞれの楽しみ方でどんどんゴールに向かって進みました。



ゴールした子どもたちは達成感と満足感で満ち溢れており、8kmの道のりを楽しんできたことが伝わってきました。初回は自然物に触れるのも躊躇していた子どもたちが、今では自ら楽しみ方を見つけ遊ぶ姿に感動しました。1年間一緒に過ごした仲間と乗り越えた頑張り、楽しんで歩いた思い出が子どもたちの自信に繋がると嬉しいです。これからの子どもたちの成長がさらに待ち遠しく思います。